26. 比較 Comparison

自分が必要とされていることを覚えておきましょう。ある人の方が高く、ある人の方が低いということはありません。
ある人は優れていて、ある人は劣っているということはありません。
あらゆることが互いに調和し合っています。

ひとりのサムライ、非常に誇り高い戦士が、ある日、禅マスターに会いに来た。そのサムライは非常に有名だった。だが、彼はマスターを見て、マスターの美しさとその瞬間の優美さを見て、突然劣等感を感じた。
彼はマスターに言った。「なぜ私は劣等感を感じるのでしょう？ ー瞬前までは、すべてがうまくいっていたのです。これまでこのように感じたことは一度もありません。私は何度も死に直面しましたが、ー度といえ、どの
マスターは言った。「待ちなさい。誰もいなくなったら答えよう」
人びとは一日中マスターに会いに来て、絶えることがなかった。サムライはますます待つのに疲れてきた。
夕方になって、部屋が空になると、サムライは言った。「さあ、答えていただけますか」
マスターは言った。「外に出よう」
満月の夜だった。月が地平線から昇ろうとしていた。そこで彼は言った。「これらの樹を見てごらん――この樹は空高くそびえ、そばにはこの小さな樹がある。両方とも何年ものあいだ私の窓の脇に存在してきた。それ
サムライは言った。「彼らは比べることはできないからです」
マスターは答えた。「そうであれば、あなたは私にたずねる必要はない。あなたは答えを知っている」

あなたが比較しないとき、あらゆる劣等感、あらゆる優越感が消える。そのときあなたは在る――あなたはただそこに在る。
小さな灌木(かんぼく)、あるいは大きくて高い樹――それは問題ではない。あなたはあなた自身だ。ー枚の草の葉は、最も大きな星と同じだけ必要とされている。このかっこうのこの声は、どんな覚者とも同じだけ必

ちょっとまわりを見てごらん。すべてが必要とされている。そしてあらゆることが互いに調和し合っている。それは有機的合ーだ。ある人の方が高く、ある人の方が低いということはない。ある人は優れていて、ある人は劣

私が毎日あなたに頭を下げる。それは、あなたは完全だということを、なにひとつ欠けてはいないということを、あなたはすでにそこに在るということを、ただあなたに思い出させるためだ――。ー歩といえども踏み出
THE SUN RISES IN THE EVENING, pp.130-131

Revision #4
Created 5 October 2024 07:48:09 by ゆう
Updated 24 October 2024 07:07:37 by ゆう